

Dialogue 10 Saying you intend to do something -予定をいう-

ダイアログの和訳と解説

口語訳

Roles: Heinrich= H, Kei= K

Kei is at a soccer game with Heinrich, his friend from the International school. It is just before the summer holidays.

H: ①Are you enjoying the game?

K: ②Yeah... ③I was just thinking about summer vacation.

H: ④Oh, do you have any plans?

K: ⑤Yeah... ⑥I am going to spend time with Julie, my friend from America.

H: ⑦Is she coming to Japan?

K: ⑧Uh huh, she's coming in three weeks.

H: ⑨That sounds nice.

K: ⑩I can't wait for her to come. ⑪What about you? ⑫What are your plans for the vacation?

H: ⑬I'm going back to Switzerland to visit my grandma and grandpa. ⑭I am looking forward to it.

K: ⑮That should be fun.

圭はインターナショナルスクールに通う友達のハインリックと一緒にサッカーの試合に来ています。もうすぐ夏休みです。

ハ：①試合はおもしろい？

ケ：②うん。 ③ちょっと夏休みのことを考えていたんだ。

ハ：④へえ、なにか予定があるの？

ケ：⑤うん、⑥アメリカから来る友達のジュリーと過ごす予定なんだ。

ハ：⑦彼女が日本に来るの？

ケ：⑧ああ、そうだよ、あと三週間でやって来るんだ。

ハ：⑨それはいいね。

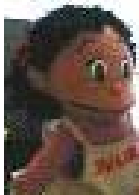
ケ：⑩彼女が来るのが待ちきれないよ。 ⑪きみはどうなの？ ⑫夏休みの予定はどんな？

ハ：⑬おじいちゃんとおばあちゃんに会いにスイスに戻る予定なんだ。 ⑭楽しみにしてるんだ。

ケ：⑮それは楽しいだろうね。

Target Expressions

—予定を述べる表現—



このダイアログのポイント
は予定を話す時の
表現よ。

☆ 予定を述べる時は「I am going to...」を使います。...には動詞の原形(辞書に載っている形)が入ります。

* 近い未来の予定で、往来・発着を表す動詞(go, come, leave, arrive など)を用いる場合は、「going to」を省くことがあります。

例: Is she going to come to Japan?

→⑦Is she coming to Japan?

She's going to come in three weeks.

→⑧She's coming in three weeks.

I'm going to go back to Switzerland.

→⑬I'm going back to Switzerland.

口語ではよりくだけた縮約形をよく使います。

I am→I'm He is→He's We are→We're



Kei's Advice

～なぜこう訳すの？

他のことに気を取られている様子の圭に対してハインリックが「試合はおもしろい？」と声をかけているところから会話が始まります。

③“I was just...ing.”: 「ただ～していただけ」→「ちょっと～していた」となります。直前の質問に対し「うん(試合はおもしろいけれど)、[他のことに気を取られているように見えたのは]ただ単に[=たまたま今]夏休みについて考えていたから」という意味で“just”「ただ～だけ」が使われています。
④“any”: 不定の漠然とした数量を表すのに用います。訳では省きます。

⑧“in three weeks”: ここでの“in”は「～の中」という意味ではなく、時の経過を表します。主に未来の文に用いられます。「あと三週間で」となります。

⑨“That sounds nice.”: 直前の発話について自分の考えを述べています。「(私は)それをいいことに聞こえる」→「それはいいことだと思う」→「それはいいね」となります。

⑩“I can't wait”: 「待つことができない」つまり「待ちきれない」という意味です。

⑬“grandma” “grandpa”: それぞれ“grandmother” “grandfather”の口語体です。日本語でいう「おばあちゃん」「おじいちゃん」にあたります。

⑭“look forward to...ing”: 「～を楽しみにする」「to」の後は名詞が来ます。そのため動名詞(動詞のing形)になります。

⑮“should”: 「きっと～だろう、～のはずだ」可能性、期待を現します。ハインリックの「楽しみにしているんだ」を受けて、「きっと楽しくなるはずだよ」→「楽しくなるだろうね」→「楽しいだろうね」と訳します。

逐語訳

ハ: ①君は試合を楽しんでいますか？

ケ: ②はい... ③僕はただ夏休みについて考えていただけです。

ハ: ④ああ、君はいくつかの計画を持っていますか？

ケ: ⑤はい。 ⑥僕はアメリカからの僕の友達ジュリーと時間を過ごすつもりです。

ハ: ⑦彼女は日本にやってくるのですか？

ケ: ⑧うん、彼女は3週間たてばやってきます。

ハ: ⑨それはいいことだと思います。

ケ: ⑩僕は彼女がやってくるのを待つことができません。 ⑪君についてはどうですか？ ⑫君のその休みのための計画は何ですか？

ハ: ⑬僕は僕の祖父と祖母を訪ねるためにスイスに戻ります。 ⑭僕はそれを楽しみにしています。

ケ: ⑮それは楽しくなるはずです。

☆ “be going to” の代わりに“will”を用いることができます。

例: I will go to America for summer vacation.

私は夏休みにアメリカに行くつもりです。

I will write a letter to my friend.

私は友達に手紙を書くつもりです。

比較 あらかじめ心に決めてある事柄については“be going to”を使うほうが一般的です。

“be going to”の代わりに“will”を使うことができるんだね。



Target Expressions
—予定を述べる表現—